

くちなしの花
雪

128
197

館書圖京東				
三	一九七	三	三	
冊	號	架	函	類門

085875-001-1

128-197

くちなしの花

小出 榮/著

M27

DBD-0444



中國社會大系

1122

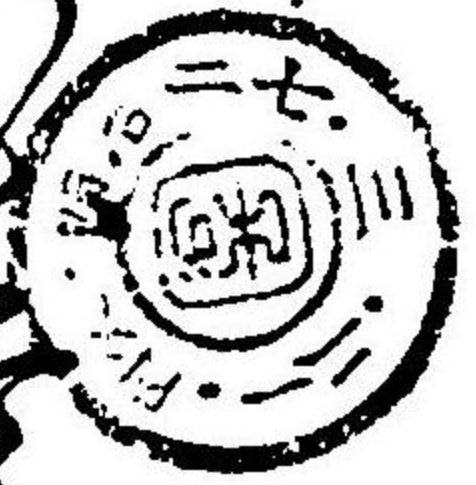
中國社會大系

施園小出榮大人家集

久吉那の巻

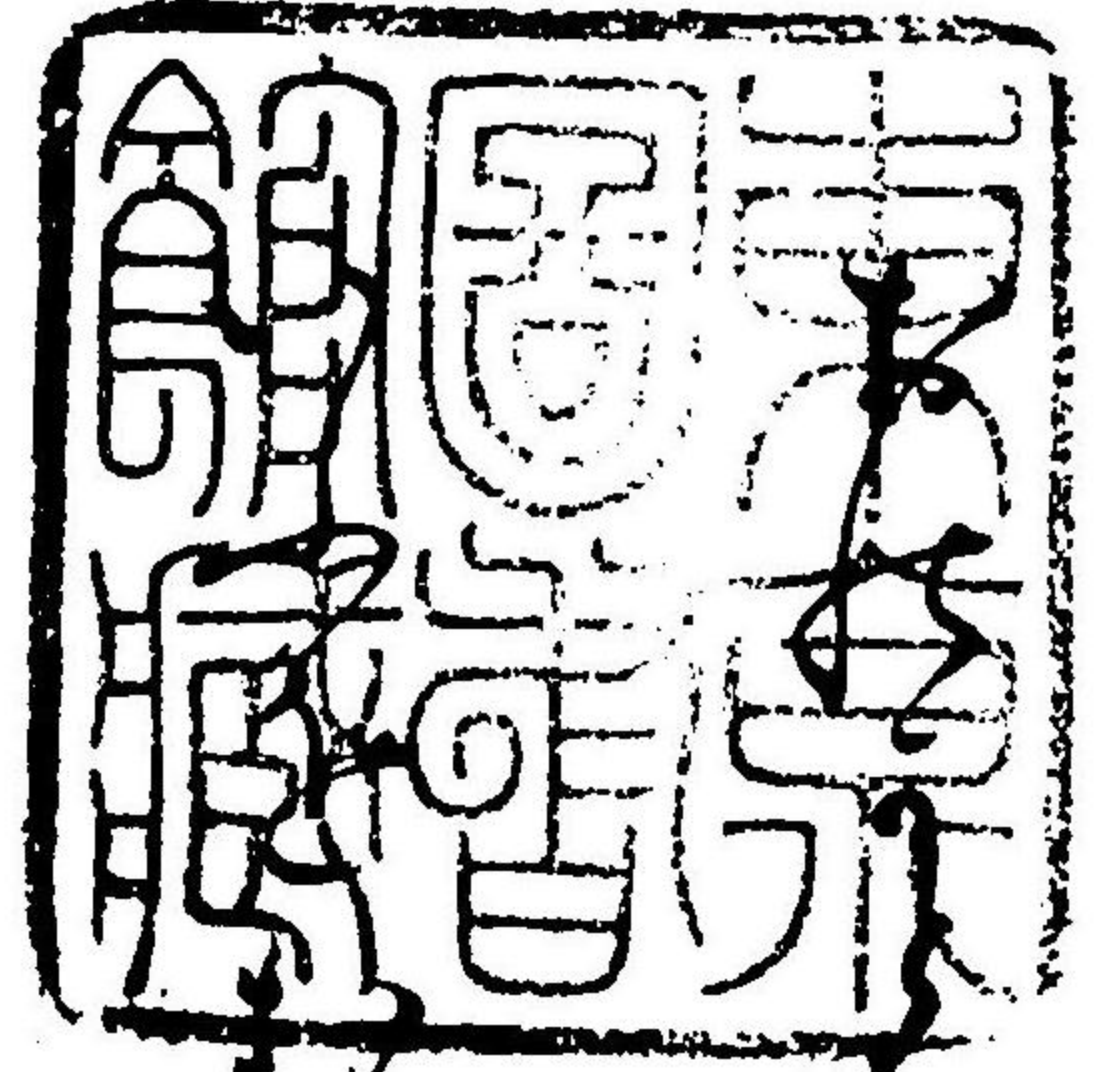
施蔭社蔵

昨大人さんへ華族おぼろの歌へ



行きの途中の都へおぼろの歌へ

とていへば〜 梶原社



〜 月次の歌をわ〜に記念

とていへば〜 東京の歌へ

〜 便へ

Handwritten text in Arabic script, line 1.

Handwritten text in Arabic script, line 2.

Handwritten text in Arabic script, line 3.

Handwritten text in Arabic script, line 4.

Handwritten text in Arabic script, line 5.

Handwritten text in Arabic script, line 6.

Handwritten text in Arabic script, line 1.

Handwritten text in Arabic script, line 2.

Handwritten text in Arabic script, line 3.

Handwritten text in Arabic script, line 4.

Handwritten text in Arabic script, line 5.

Handwritten text in Arabic script, line 6.

閣下へ新年の挨拶を申し上げます

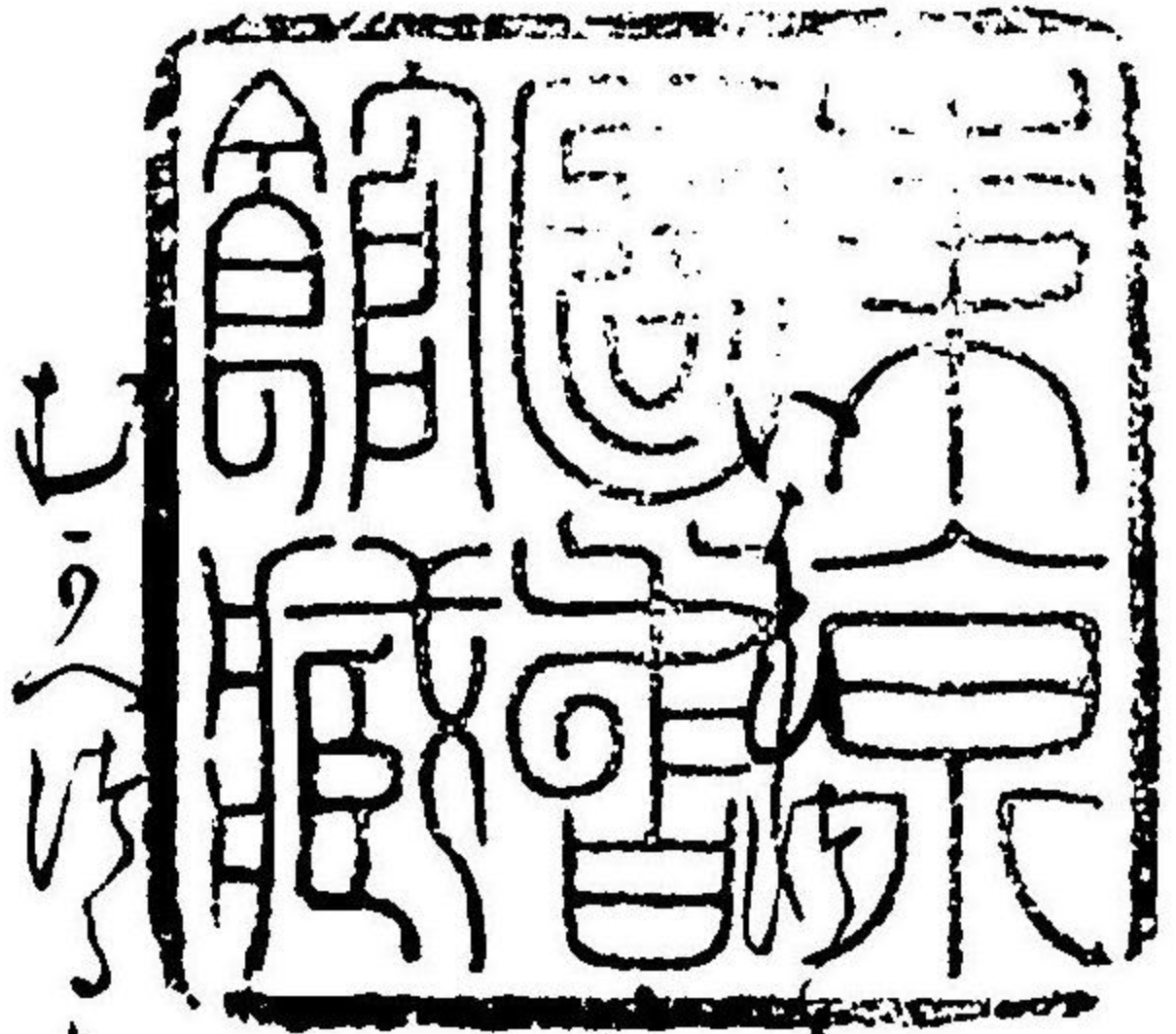
春歌 附新年

内乃清會始新年祝言を以て

賀す

あけましておめでとうと申すはめでたき世に君のまはようおめでとう

迎 年



しんがくを以てめでたき世に君のまはようおめでとう

若 水

あけましておめでとうと申すはめでたき世に君のまはようおめでとう

新年月

あしたもみよー 歳甲ふつ け去年はなごみ 者めりつ 春

新年雪

うさねのえごよめ けりて 白雪のこころ けりて ながみ 春の雪

新年海

とけあつて 舟もけりて 年波のこころ けりて 春の海

新年興

けりて 年ほきけりて けりて けりて けりて けりて けりて けりて

京都よりきたる 桜と春後東来のこころ

東海に 舟けりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて

孟載の福寿草よ

舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて

早春霞

舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて

海邊早春

舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて 舟もけりて

紀元節

きんせつ 一年のちをへぬれよひなれよ
おほひひるの
たけし けし 禁苑春來早
きんせつ

月か日かおとせぬかたはあはれなる

餘寒月

きんせつ けし 禁苑春來早

餘寒霜

よるのちをへぬれよひなれよ

雪消山色静

よるのちをへぬれよひなれよ

春色浮水

よるのちをへぬれよひなれよ

鶯辞巢

よるのちをへぬれよひなれよ

鶯 馴

花のうしろはひらひらと春の風をよそひて

曉 寫

あけぼののうららかな空に雲は白く

はなはたけと見ゆる朝の光は

夕 寫

夕陽の紅い光が空を染めて

雨中 寫

雨の音は心をつたへて

野 寫

春の野は緑の海に似て

森 寫

森の奥は静けさの国

山家 寫

山家の静けさは春の心

清水寺 寫

清水寺の静けさは春の心

谷 梅

谷うね坂田のさけつら梅のこころいふくさくさのけしき

山家梅

とくくううたけさるる梅のこころいふくさくさのけしき
梅のこころいふくさくさのけしき

故郷梅

ふるさとをさうなかり梅のこころいふくさくさのけしき

閑庭梅

うららかな庭の梅のこころいふくさくさのけしき

先尊法皇の三夜在りし梅のこころいふくさくさのけしき

月そひりし梅のこころいふくさくさのけしき

折 梅

くさくさの梅のこころいふくさくさのけしき

くさくさの梅のこころいふくさくさのけしき

くさくさの梅のこころいふくさくさのけしき

くさくさの梅のこころいふくさくさのけしき

夕柳

柳原の夕風をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

月前柳

月影の柳をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

風前柳

風前の柳をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

水邊柳

水邊の柳をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

舟渡の柳をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

鴨川新柳

鴨川の新柳をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

ねさし柳

ねさしの柳をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

故郷柳

故郷の柳をよめる人よみよみ大木の葉をよめる

門柳

〜〜〜かたは〜〜の〜〜な〜〜物〜〜うた〜〜さりきれ

柳の〜〜みは〜〜

風〜〜く〜〜く柳の〜〜み〜〜下枝〜〜み〜〜は〜〜く〜〜な〜〜

朝霞

朝日〜〜も〜〜松の〜〜梢の〜〜ほの〜〜ふ〜〜く〜〜か〜〜ま〜〜か〜〜ぬ〜〜

比叡朝霞と〜〜

〜〜朝〜〜の〜〜あ〜〜ふ〜〜れ〜〜と〜〜れ〜〜と〜〜せ〜〜と〜〜り〜〜く〜〜わ〜〜れ〜〜ふ〜〜も〜〜か〜〜ま〜〜ふ〜〜く〜〜は〜〜

遠山霞

〜〜せ〜〜く〜〜憐〜〜乃〜〜末〜〜れ〜〜を〜〜よ〜〜り〜〜く〜〜な〜〜ら〜〜ん〜〜と〜〜ふ〜〜く〜〜か〜〜を〜〜た〜〜

江上霞

〜〜き〜〜な〜〜ら〜〜う〜〜か〜〜と〜〜矣〜〜と〜〜ゆ〜〜く〜〜ま〜〜ら〜〜の〜〜は〜〜よ〜〜あ〜〜は〜〜い〜〜く〜〜う〜〜ま〜〜ら〜〜り〜〜け〜〜

遠村霞

〜〜ま〜〜な〜〜く〜〜や〜〜ま〜〜ら〜〜夕〜〜日〜〜入〜〜と〜〜て〜〜ふ〜〜み〜〜よ〜〜は〜〜ゆ〜〜き〜〜り〜〜ひ〜〜と〜〜ゆ〜〜

春雨

か〜〜そ〜〜れ〜〜ぬ〜〜我〜〜身〜〜は〜〜し〜〜れ〜〜雨〜〜さ〜〜ら〜〜ぬ〜〜ふ〜〜ら〜〜い〜〜れ〜〜ぬ〜〜お〜〜も〜〜の〜〜か〜〜い〜〜と〜〜

朝春雨

物中ききうびじかきみ妻の終れぬわさきさうきとて入りぬ

夕春雨

ふらふら人のこころをさしなすけしなすけしなすけしなすけしな
ゆよとわのかきみのけしよまなき月かえさるし春ありぬ

幽栖春雨

知りぬともゆくききえとるのへん庵一はつわらふなるな

旅宿春雨

あひぬむせとさうおとるしききありぬわさき旅のゆれしきりけ

霞中月

中かきぬきききききききききききききききききききききき

春月幽

てよまぬぬのひりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり

ま柳のさるしきききききききききききききききききききききき

海邊春月

さむしうねおぬら月夜はせよかりねりるふむほりりりりりり

目じりうよひしきききききききききききききききききききききき

川春月

とよ川中春月ぬ氷は入るる春の風はさかすか
青柳の春の風はさかすか春の風はさかすか

舟中春月

ほろりたる春の風はさかすか春の風はさかすか

山家春月

とよまけ小松まきしる春の風はさかすか

行路春月

とよまけ小松まきしる春の風はさかすか
とよまけ小松まきしる春の風はさかすか

故郷春月

梅のそよ風はさかすか春の風はさかすか
ひまわりはさかすか春の風はさかすか

花林残月

とよまけ小松まきしる春の風はさかすか

海邊春曙

春の夜は静か〜海邊の春の夜は静か〜
海邊春夕

夕月映る海の中洲の春の夜は静か〜
夕月映る海の中洲の春の夜は静か〜

春夜

月を照らす春の夜は静か〜
月を照らす春の夜は静か〜

草漸青

春の夜は静か〜海邊の春の夜は静か〜

海邊春艸

春の夜は静か〜海邊の春の夜は静か〜

故郷春草

春の夜は静か〜海邊の春の夜は静か〜

若 艸

春の夜は静か〜海邊の春の夜は静か〜

兩後若艸

うきやうなぐあひのしよきれおほしうき春の口かきもあ果しけり

野雲雀

格もくせ火りくくまに横よれてさきくまのまはしりしり

朝雉子

おきしんせにひろくれと釣なくおきしんせさきくまのまはしりしり

雨中雉

まきしんせにひろくれと釣なくおきしんせさきくまのまはしりしり

蝶

花よめさきしんせのさきしんせおきしんせさきくまのまはしりしり

故郷董

ふきしんせにひろくれと釣なくおきしんせさきくまのまはしりしり

谷蕨

さきしんせにひろくれと釣なくおきしんせさきくまのまはしりしり

あししんせにひろくれと釣なくおきしんせさきくまのまはしりしり

野遊

ふきしんせにひろくれと釣なくおきしんせさきくまのまはしりしり

花のつぼみは春のこころを告げるように咲く。花は人の心を映し出す。花は人の心を映し出す。花は人の心を映し出す。

夜花

花は夜の静けさをかき消す。花は夜の静けさをかき消す。花は夜の静けさをかき消す。

山花

山の花は風に揺れる。山の花は風に揺れる。山の花は風に揺れる。

花山

花は山を彩る。花は山を彩る。花は山を彩る。

行路花

花は旅の道に咲く。花は旅の道に咲く。花は旅の道に咲く。

林中花

花は林の奥に咲く。花は林の奥に咲く。花は林の奥に咲く。

社頭花

花は社頭に咲く。花は社頭に咲く。花は社頭に咲く。

花は名所を飾る。花は名所を飾る。花は名所を飾る。

名所花

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

采野

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

山家花

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

田家花

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

隣家花

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

池邊花

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

舟中見花

花のうらみは人のうらみよりよきものなり

花のうらみは人のうらみよりよきものなり


~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~


たむしりし下りては花の散るるをば

なほかゝるるは

らるるは花の散るるをば

花の散るるをば

らるるは花の散るるをば

下加藤の

たむしりし下りては花の散るるをば

ハ坂

らるるは花の散るるをば

下野

らるるは花の散るるをば

花の散るるをば

らるるは花の散るるをば

落花

らるるは花の散るるをば

風前落花

春の風はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

水に落花

水に落花はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

山家落花

山家落花はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

落花客稀

落花客稀はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

遅日

春の風はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

春陰

春陰はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

暮山春望

暮山春望はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

川春望

川春望はあつたかきつる花の香もあつたかきつる

山吹露

春風吹送柳花飛

燕子剪輕盈

春 舟

綠柳依依水自流

輕舟泛泛逐清波

春風吹送柳花飛

燕子剪輕盈

暮 春 雨

春 二 日

暮春三月雨紛紛

暮 春 景

綠柳依依水自流

輕舟泛泛逐清波

春風吹送柳花飛

燕子剪輕盈

夏歌

田家首夏

ほろとえー杜の藤さみ花ちまきと田中は庵も木うくけりたり

首夏鶯

鶯のさくけりまはうけりけり垣のまきとへたりたりけり

首夏旅

まかふて都はいてーと大桶とひりき木首のやまけり

朝更衣

森 堂

あはれなる川に身をまかせてはなれぬ川に身をまかせてはなれぬ

川 鱒

川に身をまかせてはなれぬ川に身をまかせてはなれぬ

水 邊 亭

水に身をまかせてはなれぬ水に身をまかせてはなれぬ

江 堂

川に身をまかせてはなれぬ川に身をまかせてはなれぬ

撲 堂

あはれなる川に身をまかせてはなれぬ川に身をまかせてはなれぬ

あはれなる川に身をまかせてはなれぬ川に身をまかせてはなれぬ

橋 邊 長 軒

あはれなる川に身をまかせてはなれぬ川に身をまかせてはなれぬ

梅 子

あはれなる川に身をまかせてはなれぬ川に身をまかせてはなれぬ

恒 夕 顔

花の心は白く花の葉は緑なり

百合花

花の心は白く花の葉は緑なり

山照射

花の心は白く花の葉は緑なり

鶴川

花の心は白く花の葉は緑なり

深夜鶴川

花の心は白く花の葉は緑なり

鶴舟多

花の心は白く花の葉は緑なり

致遣火

花の心は白く花の葉は緑なり

花の心は白く花の葉は緑なり

田家致遣火

花の心は白く花の葉は緑なり

池蓮

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

蓮満池

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

扇

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

夕立

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

遠夕雨

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

旅夕雨

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

夕納涼

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

あはれにふかき水に花を散らすはさかたけのあはれ

樹陰納涼

杉の影のぬらぬらとわづらひて
さうへは益本のわりのか
まじりて

海邊納涼

海をうらみあふぬらぬらと浦へ
熱田よりふるまきよひの古寺納涼

橋納涼

さうへにの草むらさきと
こころに紫らぬらぬらと

舟納涼

舟の影にささげとわづらひて
こころに紫らぬらぬらと

水樓晚涼

だまぬらぬらとわづらひて
熱田より海邊納涼

名古座

夕日東にひかりとわづらひて
名古座よりふるまきよひの古寺納涼

名古座

来客夏筈

はるかなる海を渡る舟の音はなほ遠くを響かすなりよ

上野の梅の花ははなはた梅の花ははなはた

はなはたはなはたはなはたはなはたはなはたはなはた

秋花夏開

秋花も夏開の音はなほ遠くを響かすなりよ

夏 曉

はなはたはなはたはなはたはなはたはなはたはなはた

夏 雲

はなはたはなはたはなはたはなはたはなはたはなはた

夏 田家

はなはたはなはたはなはたはなはたはなはたはなはた

夏 海

はなはたはなはたはなはたはなはたはなはたはなはた

夏 森

はなはたはなはたはなはたはなはたはなはたはなはた

夏市

かきつばたの香もよそよそしに麻衣の香もよそよそし夏はかきつばた

夏寺

夏ははるのこころもよそよそしに山寺のまはりの香もよそよそしこころは

夏庭

かきつばたの香もよそよそしに庭の香もよそよそしこころは

夏柳

かきつばたの香もよそよそしに柳の香もよそよそしこころは

夏本

かきつばたの香もよそよそしに本はよそよそしに夏はかきつばた

夏井

かきつばたの香もよそよそしに井はよそよそしに夏はかきつばた

夏籠

かきつばたの香もよそよそしに籠はよそよそしに夏はかきつばた

夏燈

かきつばたの香もよそよそしに燈はよそよそしに夏はかきつばた

